

あじさいの  
下を流れて  
観世水  
ゆかたにさそへ  
夏の夕風  
梅屋



五枚組の内一枚 / 一勇齋国芳画 弘化・嘉永期

「花の博物館」の『絵本野山草』にも記されているように、江戸時代、赤系の品種も成立し栽培されていたことがうかがわれます。

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 誓 発行所／名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'26 5

名古屋園芸

ふんわり咲く初夏のよこび



## しゃくやく 芍薬 ~気品を纏う初夏の花~

芍薬は、初夏に咲く華やかな花で、「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」と言われるほど古くから、美しさの象徴として親しまれてきました。やわらかく重なった花びらが特徴で、丸くふんわりとした姿はとても上品で優雅。色はピンク・白・赤などがあり、咲き進むにつれて少しずつ表情が変わるのも魅力です。

お好きな色を選んでシンプルに花瓶に一輪飾っても可愛いですし、何輪かをまとめて大きな花瓶に飾ると、より豪華で贅沢に楽しんでいただけます。また、ドウダンツツジとの組み合わせもおすすです。ドウダンツツジの繊細な枝の動きが、芍薬のふんわりと丸い花をより引き立ててくれます。ふくらむ芍薬の丸みにドウダンツツジの細やかな枝先が重なると、小さな花瓶でも立体感と気品のある初夏の景色が生まれ、楽しんでいただけます。



芍薬「サツキ」とドウダンツツジ ¥2,000 (税込 ¥2,200)  
ドウダンツツジの繊細な枝の動きが、芍薬のふんわりと丸い花をより引き立ててくれます。小さな花瓶でも楽しんでいただけます。

### information

5月のオススメ 花の講座  
講座No.29 レモンを育てる

5月22日(金) 10:30~11:30  
講習費:1,320円 材料費:5,720円  
講師:北村幸久

瑞々しい葉、香りのよい花、それから大きくなっていく実と、楽しみの多いホームフルーツとして人気のレモン。育てやすい果樹ではありますが、ご自宅で・そして鉢植えでたくさん収穫する楽しみ方をお話しします。自分で育てないと味わえない完熟レモンの味は格別です!



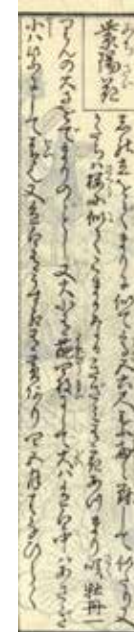
◇お申し込みは  
花の講座専用電話 TEL:052-937-3391  
受付時間 月~金曜日10:00~17:00  
Webからもお申込みできます!

名古屋園芸

こちらからもどうぞ



紫陽花  
しの立をでまりに似て高五六尺葉面、対して似たり又かたちは桜に似てこまかなるきさみ花あつまり咲き牡丹一りんの大きさをでまりのごとし又大小有は絶四枚にして大は色白中はあきき  
小は紫にして青也又色白有うす紅有黄なり四五月はなひらく



江戸時代の園芸文化の中でも、アジサイは静かに親しまれていました。その代表的な資料のひとつが、宝暦5年(1755)刊の橋保国による『絵本野山草』です。同書では草木が線描で丁寧に描かれ、植物の特徴的確に表現されています。アジサイの項には「高さ五六尺、葉面々對して似たり」とあり、葉が対生であること、花が集まって咲き、色も白・浅葱・紫・薄紅・黄など多様であることが記されています。さらに「牡丹一りんの大きき」と例えられていたことがよくわかります。こうした記述から、アジサイが江戸の自然観や園芸文化の中で確かな存在感を持っていたことが読み取れます。

アジサイは日本原産の植物で、古くから人々に親しまれてきました。『万葉集』には「アヂサイ」と万葉仮名で記された歌が二首あります。現在一般的にアジサイを表す漢字「紫陽花」は、930年代に源順が編んだ『和名類聚抄』で初めてアジサイに当てられました。しかし引用元とされた中国・白楽天の詩に登場する「紫陽花」は「色は紫にして香はし」とあり、アジサイとは異なる植物を指すと考えられています。この誤用は江戸時代の『大和本草批正』や牧野富太郎博士らも指摘しており、本来は誤記であるにもかかわらず、長い年月の中で定着してしまったものです。なお中国ではアジサイを「八仙花」「繡球花」と表記します。

## 花の博物館 第364回

『絵本野山草』に見る江戸時代のアジサイ

橋保国画図 宝暦5(1755)刊 小笠原 誓



二十四節気ブーケ「しゃくやく」 ¥5,000 (税込 ¥5,500)

枝ぶりの美しさが魅力のドウダンツツジは、みずみずしい緑が空間に清涼感をもち、白、グリーンを基調にオレンジやブルーを差し色に加えることで、初夏らしい爽やかさと躍動感のあるナチュラルアレンジメントに仕上がります。一方、「小満」の頃に旬を迎えるしゃくやくは、コーラルピンクを中心にニュアンスカラーでまとめることで、ふんわりとした華やかさと上品さを兼ね備えたブーケとなり、特別な想いをやさしく伝えます。

初夏の光や風を感じる花々は、日々の暮らしにやさしい彩りを添え、大切な方への季節のご挨拶にもぴったりです。ご自宅用としても、季節を楽しむひとときを演出してくれます。自然の移ろいを感じる花贈りで、心豊かなひとときをお届けしてみたいかがでしょうか。

## 季節のバースデーギフト — 二十四節気に寄せて —

新緑がまぶしく、風が心地よい5月。暦の上では「立夏」を迎え、初夏の気配が一気に広がります。この時期は、軽やかで爽やかな季節感を大切にしたい贈り物がおすすです。



二十四節気アレンジ「ドウダンツツジ」 ¥7,000 (税込 ¥7,700)